１月学年団だより

香川県立高松北中学校２年団

2023．１．10

新年明けましておめでとうございます。本年もよろしくお願いいたします。

いよいよ 2023 年、卯年の幕開けです。卯（うさぎ）は穏やかで温厚な性質ですが、その跳躍する姿から、「飛躍」や「向上」の象徴とされているようです。また、卯年は芽を出した植物が成長していき、茎や葉が大きく成長する年だとも言われています。今まで培ってきた知識や技術を大きく伸ばしていってほしいと願っています。中学校生活も最後の一年となります。自分自身をしっかり成長させ、自分の進路につながる一年としてほしいと思います。

昨年１２月には、合唱コンクールの鑑賞にお越しいただきありがとうございました。「２年生らしく堂々と歌えていた。」「迫力があった。」「ハーモニーがきれいだった。」等、好評をいただきました。どのクラスもみんなが同じ目標に向かって、毎日の練習を頑張っていました。そこで努力してきたことは、それぞれの子どもたちの成長につながったことと思います。

1.　ハンセン病問題学習

本校では、中学２年生でハンセン病問題について学習しています。学習する目的は、「ハンセン病についての正しい知識と歴史を学ぶことにより、病気への偏見による人権侵害について深く考え、様々な人権侵害に対して積極的に行動できるようになる。」「ハンセン病問題の学習から差別の恐ろしさや愚かさを学び、自分の言動を振り返るきっかけにする。」の２つです。５時間の学習を予定しており、そのうち１時間は、県立保健医療大学の近藤教授や国立療養所大島青松園の看護師の方々からの講話を聴く時間にしています。また、この人権学習では、学級の枠を取り払い、学年団で４人ずつのグループを作って学習していきたいと考えています。生徒相互に双方向の関わり合いを通して、自分で考え、他者から学ぶことを重ね、「知り」「考え」「気づき」「行動する」のプロセスで学ぶことができ、コミュニケーションの練習にもなると考えたからです。１つのテーマについて話し合い、グループで協力しながら、よりよい解決方法を導き出す体験は、参加協力、合意形成、対立解決の力を育てることができます。人との関わりは、関わりの中でこそ身につけることができると考えています。

2.　立志の集い・弁論大会

３学期は、これまでのキャリア学習の総まとめとして、立志の集いを行う予定です。「立志」とは、「志を立てること」。「将来の目的を定めて、これを成し遂げようとすること」です。奈良時代から平安時代にかけての時代、14 歳（数え年で 15 歳）になると成人になったものとみなされ、「元服の儀」でお祝いをしていました。立志式を迎えた子どもたちは成人となり、今までの感謝の気持ちとともに、将来の目標や誓いを立てて周囲に宣言していたようです。そこで、大人になる準備として、自分を見つめ「志」を立て、残りの中学校生活をしっかりと歩んでほしいと考え、企画しています。弁論のテーマは、「15 歳の決意～未来の自分のために今できること～」です。発表内容の作成は、冬休みの宿題にしていました。これまでの職業調べの学習や職場体験学習などをもとに考え、立てた「志」を学級や学年団で立派に発表してほしいと思います。

3.　マラソン大会

２学期の後半から、体育の授業では持久走をしています。ライフを読むと、持久走はつらいというコメントが多くあります。しかし、中学生のこの時期は、体力、とりわけ持久力が向上する時期でもあります。辛抱強く走りぬくことでいろいろな力がつくことも事実です。あきらめず少しでも力をつけてくれることを期待しています。月末には、マラソン大会も予定されています。昨年より少しでもタイムをあげることができるように自分のペースを守りながら最後まで走り切ってほしいと思います。